

大分県外国人総合相談センター おおいた国際交流プラザ

No.21
Summer
2024

令和6年度「災害時外国人支援セミナー」の開催

大分県からの委託を受けて、6月7日に県立美術館研修室にて開催しました。今回のセミナーは行政職員を対象に開催し、県と10市町の外国人支援や防災業務に関わる担当者22名が参加しました。

冒頭、県国際政策課の田吹課長が、近年、地震や大雨による災害が多発する中、言葉、文化の違いで災害弱者となることが多いと言われている在住外国人、外国人観光客に対する適切な支援ができるサポート体制の構築が喫緊の課題である旨の挨拶がありました。

セミナーでは熊本市国際交流振興事業団事務局長の勝谷知美さんに「災害時における外国人支援の事例」をテーマに講演していただきました。勝谷さんは同団体にて多文化共生や人づくり事業に携われ、2016年熊本地震では災害多言語支援センターなど外国人被災者の支援に尽力されました。講演では、災害多言語支援センターでの①情報収集と発信、②避難所運営、③災害時多言語支援サポーターの活動について経験談を交えて話してくれました。

後半の市町村の事例発表では、別府市文化国際課より2016年熊本地震発生直後の外国人の反応や様子、各国大使館からの問い合わせへの市職員の対応などを時系列で説明してくれました。また、地震後に始めた「防災まちあるき」など独自の対策について話してくれました。

セミナー終了後のアンケートでは、「外国人への対応は事前に取り組む必要性を感じた」、「経験に基づいた取り組みが大変参考になった」など意見があり、高評価を頂きました。



information

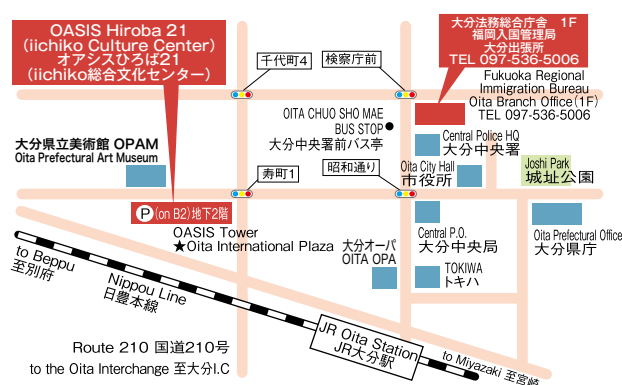
〒870-0029 大分市高砂町2-33 iichiko総合文化センター 地下1階
TEL 097-529-7119 (相談センター)
TEL 097-533-4021 (国際交流プラザ)
FAX 097-533-4052 (相談センター・国際交流プラザ)
URL: <http://www.oitaplaza.jp/> (相談センター・国際交流プラザ)
E-mail: oisc@emo.or.jp (相談センター)
E-mail: in@emo.or.jp (国際交流プラザ)

時間 月～土 (相談センター・国際交流プラザ)

10:00～17:00 (相談センター)

9:30～18:00 (国際交流プラザ)

※日曜、祝日、iichiko総合文化センター休館日および年末年始はお休みです



令和6年度 第1回おおいた国際交流団体ネットワーク会議

6月15日に大分県立美術館研修室で開催し、県内15の国際交流団体、日本語教室や留学生支援などの関係者に加え、県・市の担当者30名が参加しました。

冒頭、大分県国際政策課 田吹課長から「技能実習制度から育成就労制度への移行に伴い今後は更なる外国人数の増加が見込まれる。外国人にとって住みやすい大分県、外国人材に選ばれる大分県づくりを進めていくうえで皆さんの活動は大変重要。今後ともご協力をお願いしたい」と挨拶がありました。

続いて、県内で活動する2つの国際交流団体に活動報告を行っていただきました。

まず、スリランカ親日協会のクラドウンゲ・アサント会長には、協会を立ち上げた経緯や、立命館アジア太平洋大学（APU）で開催した日本に住むスリランカ人によるクリケット大会の様子、スリランカの市と姉妹都市交流を行っている臼杵市での記念イベントへの駐日大使との参加など、協会の活動について紹介していただきました。

次にNPO法人福祉コミュニティKOUZAKIの稲生理事長、姫野さん（国際交流担当）に、大分市神崎（こうざき）地区での、海岸清掃活動やBBQ大会などを通じた外国人住民と地区住民との交流活動や、技能実習生を対象とした日本語教室の開設の経緯などについて説明していただきました。

また意見交換では、日本語教室が設置されていない市町村に住む外国人住民が日本語を学ぶための対策が必要ではないかとの意見を受け、県の担当者から今年度、オンラインでの日本語講座を開講する予定である旨の説明がありました。その他、国際交流団体の会員増加のためにはどのような取り組みが有効かについて、議論が行われるなど、有意義な意見交換ができました。



相談事例

① 専門家相談

Q 外国人です。特定技能1号に在留資格の変更を考えています。内容について詳しく教えてください。

A 特定技能1号は12分野あります。詳細は出入国管理庁HPでご確認ください。

- ・ 特定技能1号の各分野の仕事内容 (Job Description)
URL: https://www.moj.go.jp/isa/applications/ssw/10_00179.html
- ・ 12分野ごとの問合せ先 (PDF)
URL: <https://www.moj.go.jp/isa/content/930003823.pdf>

② センター相談

Q 外国籍の知人が外国語対応可能な病院を探しています。

A 「医療情報ネット(ナビイ)」で調べることができます。詳細は厚生労働省HPでご確認ください。

URL: <https://www.iryuu.teikyouseido.mhlw.go.jp/znk-web/juminkanja/S2300/initialize>



③ センター相談

Q 外国人です。就職のために日本語能力試験を受けたい。

A 日本語能力試験の公式HPで実施日や受験手続きの流れ、問題例など必要な情報が確認できます。

URL: <https://www.jlpt.jp/>



④ センター相談

Q 外国人です。会社を経営しているが悩みが多く専門家のアドバイスが欲しい。どこに相談すればよいですか？

A 「大分県よろず支援拠点」で相談(要予約)することができます。また、出張相談(宇佐市、中津市、国東市、佐伯市)もあるので詳細はHPでご確認ください。

URL: <https://www.yorozu-oita.go.jp/>



専門家相談 中国語相談 タガログ語相談

※相談員の都合でお休みになることがあります。 ※詳細はHPでご確認ください。

▶ 専門家相談

■日時 毎週土曜日 13:00~16:00 ■場所 おおいた国際交流プラザ iichiko総合文化センター 地下1階
■相談員 外国人Life Support所属行政書士ほか ■費用 無料 ■申込 不要

事前の予約は必要ありませんが、専門家により専門分野が異なることや通訳が必要な場合がありますので相談内容を予めセンターにお知らせください。

▶ 中国語相談

■日時 毎月第1、第3木曜日 10:00~13:00 ■場所 おおいた国際交流プラザ iichiko総合文化センター 地下1階
■相談員 おおいた国際交流プラザ 中国語相談員 ■費用 無料 ■申込 不要

▶ タガログ語相談

■日時 毎月第1土曜日、第3火曜日 13:00~16:00 ■場所 おおいた国際交流プラザ iichiko総合文化センター 地下1階
■相談員 大分県フィリピン友好協会所属相談員 ■費用 無料 ■申込 不要



Reaching Nirvana

Zen is said to be a state of peace and tranquility, becoming one with that around you. Although the term in English is a relatively modern invention, it of course comes from Zen Buddhism, an ancient sect of Buddhism that took hold in Japan in the 7th century C.E. Many know that Buddhism is about self-enlightenment, reflection, and renunciation of worldly desires, but how many can say they've been to a temple that truly feels like it embodies those principles?

According to legend, in 645 C.E. the Indian hermit *Hōdō* visited the precipitous *Mt. Rakan* in the *Yabakei* gorge. The mountainous scenery reminded the hermit of one of the Buddha's favorite retreats in India: *Griddhrakūta*, or "Vulture Peak." Hōdō retreated into the caves of the mountain to meditate. When he departed the mountain, he left behind only his personal metal statue of the female buddha, Guanyin. This was the beginning of the Rakan Temple, *Rakan-ji*.

Rakan-ji was later officially founded in 1338 by the Zen Master *Engan Shougaku*. He likened the scenery of the mountain to yet another sacred place in Buddhism, Tiantai Mountain, the legendary abode of *Arhats* (Rakan), or those who have reached Nirvana. Consequently, stories say that statues of the "500 Arhats" were made in the span of a year and placed in a cave at the temple.

Rakan-ji is not a tourist attraction; it is a place of worship. You can't take pictures, it doesn't provide a *goshuin* (temple stamp), and you must remain quiet and respectful at all times. While all temples are sacred in some way, Rakan-ji is one of the few I've visited where it just simply doesn't feel fit for sightseeing.

The path to the temple is treacherous, used by actual monks for ascetic training. Every statue and structure you come across seems to have a deep meaning and ancient lineage, with a written history provided that is hard for even the average Japanese person to decipher.



At the end of that path lies a cave, the "500 Arhats" and the temple contained within. The fact the Arhats were made in the 14th century still boggles my mind—the dedication of the Zen disciples to their way of life is awe-inspiring.

The temple itself is a beautiful structure, with one of the most unique features I've ever seen—a box to throw away the things you hate, the things you can't stand, all your worldly worries. Many temples have a place to write your wishes. This is quite possibly the only one where you write your sorrows.

This temple and the journey to it are meant for cleansing yourself—to become "lighter." In other words, to leave behind your worries and realize your place in the world.

I'm not a very spiritual person. I can't tell you if I felt lighter after walking this path of reflection. I might not be able to recommend Rakan-ji to people like me, no matter how beautiful the scenery and interesting the history. But maybe that isn't why I was there. My role might be guiding the right people, those in touch with their spiritual side, to the temple.

If that sounds like you, Rakan-ji awaits your visit.



出典：写真AC



おおいた国際交流プラザFree Talk Class
英語の講師：オースティン ヴォーンさん
(国際交流員) が県内の名所等取材し
紹介します。

【概訳】

羅漢寺は観光地ではありません。礼拝の場で御朱印はもらえないし、写真撮影は禁止です。険しい道を登った先に寺院や五百羅漢があります。14世紀に建てられたことに驚きました。この道をたどって参拝することは自分を浄化し、心が軽くなることを意味します。

私はそれほどスピリチュアルな人間ではないので、浄化されたかどうかお伝えできないし、この寺がどんなに美しく、興味深い歴史があったとしても、私のような人に羅漢寺を勧めることはできないかもしれません。しかし寺を訪れた私の役割は、神秘に関心のある皆さんに羅漢寺の魅力に触れていただくよう導くことではないかと思っています。羅漢寺はそういう方を待っています。

※概訳はプラザが作成しました。

※「大分信息」は休刊します。

Festivals and Events

県内イベント案内 ※掲載のイベントは、予告なく中止・変更になる場合があります。

没後50年 福田平八郎

開催期間／開催中～7月15日(月・祝)
会場／大分県立美術館 3階 展示室B
観覧料／一般1,400(1,200)円
高校・大学生1,000(800)円
※中学生以下は無料
※()内は有料入場20名以上の団体料金

養老孟司と小嶋山賢二「中展」 ～みて、かんじて、そしてかんがえよう～

開催期間／7月13日(土)～8月25日(日)
会場／大分県立美術館 1階 展示室A
観覧料／一般1,200(1,000)円
高校・大学生1,000(800)円
※中学生以下は無料
※()内は前売および有料入場20名以上の団体料金

江戸東京博物館コレクションより 北斎と広重 富嶽三十六景への挑戦

開催期間／7月26日(金)～9月8日(日)
会場／大分県立美術館 3階
コレクション展示室
観覧料／一般1,400(1,200)円
高校・大学生1,000(800)円
※中学生以下は無料
※()内は前売および有料入場20名以上の団体料金

※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳をご提示の方とその付添者(1名)は無料(3展共通)

【鑑賞支援つき】 詩を愉しむ日本の歌コンサート

日時／7月30日(火)14:00
会場／iichiko音の泉ホール
料金／(指定席・自由席)500円
※介添者1名は無料、2歳から入場可能
出演／小倉理紗子、佐々木優実、中川誠宏、
磯田健太郎 ピアノ：小町美佳
曲目／わたしとことりとすずと
こだまでしょうか
(金子みすゞ・詩／中田喜直・曲)
からたちの花
(北原白秋・詩／山田耕筰・曲)ほか

十三代目 市川團十郎白猿襲名披露巡業

日時／9月15日(日)13:00
会場／iichikoグランシアタ
料金／(全席指定)GS席:13,000円
S席:10,000円、A席:7,000円
A席(25歳以下):3,000円
B席(3階席):4,000円
※未就学児入場不可
出演／市川團十郎、市川右團次／中村梅玉
ほか
演目／『祝成田橋賑』、『口上』、『天衣紛上
野初花 河内山』

レクチャー付きオーケストラコンサート

日時／9月23日(月・振休)16:00
会場／iichikoグランシアタ
料金／(全席指定)
S席:3,000円、A席:2,000円
25歳以下:各席半額
※未就学児入場不可
指揮／森口真司
(大分県立芸術文化短期大学 教授)
管弦楽／九州交響楽団
曲目／ベートーヴェン:交響曲第5番『運命』



JICAデスク 大分からこんにちは！



初めまして！JICA国際協力推進員(外国人材・共生)の本多と申します。今年3月より、JICA九州に配属となりました。沖縄県民の母と秋田県民の父との間に生まれ、これまで、秋田県→宮城県→海外→東京都→茨城県を経て、主人の転勤に伴い、九州の地にたどり着きました。私も、JICA海外協力隊経験者で、これまで、ポーランド共和国、ドミニカ共和国、エクアドル共和国に派遣されました。職種は・・・なんと「剣道」です！4歳から剣道を始め、大学までは競技者として、インターハイや国体などの大会で活躍することを目指し、稽古に明け暮れる毎日でした。現在は、教士7段。古くより多くの有名な剣豪を輩出し、強豪校が勢ぞろいしている九州は、憧れの地でもあり、車には常に防具を積み込み、仕事と稽古ができる機会を虎視眈々と狙っております！(道場破りではありません笑)

JICAが、一般デスクに加えて、「外国人材受入れ・多文化共生」に特化した推進員の配置を促進している背景として、日本国内

における「人手不足、海外留学生の日本企業就職や定着、在留外国人と地域の多文化社会の構築」などが、喫緊の課題になっていることがあります。また「外国人材」として日本で活躍されている方々の多くが、JICAの活動現場となる、開発途上国出身であることから、日本政府の方針においても、在留外国人の方々が学び、働き、暮らす地域の自治体、住民の皆さま、企業など多様なアクターとJICAが連携し、課題解決に取り組む必要性が明示されております。言葉、宗教、生活など異なる背景を持つ人々が、互いを尊重し、共に暮らしていく「選ばれる大分県」を目指し、前進していきたいと思っております！



JICAデスク 大分

iichiko総合文化センター(B1F) おおいた国際交流プラザ内
担当：JICA九州・大分県国際協力推進員 金谷
TEL: 097-533-4021 (おおいた国際交流プラザ直通)
E-Mail: jicadpd-desk-oitaken@jica.go.jp



大分県が多文化共生につながる活動を紹介します！～国際交流団体編～

Q1 「大分県フィリピン友好協会」とはどういう団体ですか？

大分県に拠点を置く非営利団体です。大分県在住のフィリピン人同士の互助会で、500人以上の会員が在籍しています。文化も言語も違う国で暮らす方々の困り事や孤独感を軽減し、大分の地で共生していけるように様々な活動を行っています。

Q2 活動について教えてください

タガログ語での無料相談、チャリティイベントの開催、災害時の物資支援、領事館のご協力によるパスポート更新のサポート、フィリピンの恵まれない人々への足踏みミシン寄付活動などの生活支援プログラムなどを行っています。



大分県フィリピン友好協会
会長 吉武 ロドラ さん

Q3 2022年度社会貢献者表彰受賞おめでとうございます これまでの功績が認められた感想を聞かせて下さい

感無量の一言です。私1人では出来る事に限りがありますが、同じフィリピン人として、また大分に暮らす人間として少しでも困っている人の力になりたいという思いに賛同してくださる方々のおかげで（公財）社会貢献支援財団から賞を頂けたと思います。受賞を励みにこれからももっと精力的に活動して行きます。

Q4 最後に、今後の目標を教えてください

大分でもグローバル化が進み、相互理解と共生がより重要性を増していく中で、友好協会がフィリピンと日本の大きな架け橋になれたらいいと思います。



外国語図書無料配布



外国語図書無料配布を3月15日、16日に「おおいた国際交流プラザ研修室」で実施し、用意した258冊の外国語図書と英字新聞のうち85冊をお持ち帰りいただきました。

外国語図書コーナーに配架できなくなった古い本や寄贈本の中には日本語テキストやベトナム語など英語以外の本も多数あり、来場者はテーブルに並べられた本の中から楽しそうに選んでいました。またアンケートにもご協力いただきました。皆様の貴重なご意見は今後の運営の参考にさせていただきます。

おおいた国際交流プラザでは外国語図書の貸し出しを行っています。お一人1回につき10冊まで2週間借りることができます。ぜひご利用ください。また、ご自宅に眠っている外国語図書がありましたらご連絡ください。



大分県国際交流員 着任あいさつ



ダージャーハオ！皆さん初めまして、中国から来ました国際交流員の楊（ヨウ）と申します。プラザのFree Talk Class中国語を担当しています。

中国語や中国のことに興味を持っていただき、とても嬉しく思います。日本語を6年専攻してきた身として、言葉の魅力と同時に、難しさもつくづく感じています。その一例が、アクセントです。難しくて、無視してしまった結果、発音がめちゃくちゃになったという大失敗があります。今更ながら直そうと、苦勞しています。外国語専攻生でさえこうなのだから、みなさんも失敗を恐れず、言語の勉強を楽しんでいただきたいです。

もちろん、語学だけではありません。私は東南アジアに接する雲南省で生まれ育ちました。常春の地として人気を誇る旅行先です。少数民族の人がたくさん暮らして、多彩な文化を持っています。そんな雲南省の魅力を伝えられるよう頑張っていきます。

皆さんとのつながりを大切にして、楽しくやっていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

国際理解講座

ガーナ編



6月8日にiichiko総合文化センター 映像小ホールにてJICAデスク大分と共催で「国際理解講座ガーナ編」を開催しました。講師にアンクラ・エリック・タッキー・タイワさん（JICA長期研修員 立命館アジア太平洋大学研究科在籍）を迎えた今年度最初の講座は日英逐次通訳で行われ、33名の方にご参加いただきました。

講座はまず講師の自己紹介から始まり、コートジボワールに次いで世界第2位の生産量を誇り、私達にとって馴染み深いチョコレートの原料カカオ豆について、収穫から発酵、乾燥までの様子を写真と共に紹介します。他にも国旗のデザイン・色を通して紐解くガーナの歴史や現在の様子、黄熱病の研究で有名な野口英世のガーナでの功績について、またジェネリックネームという正式な名前とは別に男女それぞれが生まれた曜日で決まった名前を付ける習慣についてもお話しいただき、参加者はご自身の生まれた曜日を表に書かれた名前に当てはめて楽しんでいました。

今回は講師のみならず通訳の廣松さんもガーナの民族衣装を着て雰囲気作りに一役買っていました。参加者はJICAデスク大分が用意した冠婚葬祭で着る手織りの一枚布：ケンテを手にとって手触りやデザインを確かめ、



Made inガーナのチョコレートを試食しました。皆さんは普段慣れ親しんだチョコレートよりも食べ応えのある食感と味の違いを堪能したようです。

質疑応答では参加者が積極的に質問し、答える講師の真摯な姿勢と通訳との息の合ったやりとりで講座に一体感が生まれ、参加者の皆さんのガーナに対する興味や好奇心を満たす盛りだくさんの内容になりました。

おおいた国際交流プラザからのお知らせ

●Free Talk Class

県国際交流員（CIR）が出身国の文化や日常生活について参加者に母国語で紹介し、楽しみながら言語に触れることを目的としています。

アメリカ、韓国、中国出身のネイティブと交流してみませんか。（各週で1言語）

日時 金曜日 13:30～15:00

定員 10名

●語学講座

新しい言語を習得したい方、学びながらその国の魅力に触れてみませんか。興味のある方はぜひご参加ください。

対象言語：インドネシア語、ベトナム語、イタリア語

定員 各10名

●通訳・翻訳ボランティア

おおいた国際交流プラザには、英語・中国語・韓国語・ドイツ語・イタリア語・フランス語・ロシア語・タガログ語・スペイン語・ベトナム語・インドネシア語・タイ語・アラビア語・ヒンドゥー語・ウルドゥー語・ミャンマー語・マレー語の通訳・翻訳ボランティアが登録しています。

語学力を活かして、在留外国人のサポートをしたいという方のご登録を随時募集しています！

●日本語ボランティア

日本語ボランティアは、日本語を母語としない方に日本語を教えるボランティアです。

登録希望者は、おおいた国際交流プラザのHPから登録用紙をダウンロードしご記入のうえ、FAX、E-mail、または直接提出してください。



●医療ハンドブック

大分県内に在住する外国人のための医療ハンドブックをおおいた国際交流プラザのホームページでご覧いただけます(5か国語)ハンドブックでは、日本の医療制度、病院のかかり方、妊娠・出産の時の対応、事故や感染症など、日本で生活で知っておきたい情報を紹介しています。

●日本語教室情報

▶あいうえおCLUB

①場 所 アイネス（大分市）

日 時 毎週火・金 10:20～11:50

連絡先 090-8353-2485 宮瀬

②場 所 コンパルホール（大分市）

日 時 毎週木 18:30～20:30

連絡先 097-532-5940 加藤

▶さくら日本語教室

場 所 大分大学国際交流会館（大分市）

日 時 毎週月 10:15～12:00

連絡先 097-528-1865 川野

▶ひまわり

①場 所 明治明野公民館（大分市）

日 時 毎週水 14:00～15:30

②場 所 鶴崎公民館（大分市）

日 時 毎週土 10:00～11:30

③場 所 コンパルホール（大分市） ※こども日本語教室

日 時 毎週土 14:00～15:40

連絡先 097-527-2614 深田

▶日本語らくらくトーク

場 所 別府市役所

日 時 毎週月 14:00～15:30

連絡先 0977-21-1131 文化国際課

▶BIP Japanese Conversation Class

場 所 APU PLAZA OITA (AP House 4) 1階

日 時 毎週火 10:00～11:00（入門）

11:10～12:40（初中級）

毎週水 14:00～15:30（初中級）

連絡先 0977-23-1119 神（こう）